

寺内 健一

FPD 技術コンサルタント

略歴 (詳細は ICTECH 会社案内に記載)

1975 年 4 月～1979 年 3 月：同志社大学 工学部 機械工学科

1979 年 4 月～1983 年 3 月：タツノ(株)

1983 年 4 月～2002 年 12 月：大日本スクリーン製造(株)

2003 年 3 月～12 月：アプライドマテリアルズ(米国カリフォルニア)

2004 年 1 月～：FPD 技術コンサルタントとして従事

(2013 年まで有限会社、以降 個人事業として継続)

講演の演題

「FPD 最新動向」

概要

日本が生み出した液晶 Display は携帯電話、ノートパソコンに採用され、薄型テレビの実現で半導体業界に次ぐ花形産業へと成長した。さらなる市場拡大のためスマートフォンやタブレット PC に期待を持っているが、強豪国である韓国、台湾、中国の価格攻勢にあえいでいる。

このままでは日本が負け組となってしまう。そこに登場する救世主は何か？

ガラス基板に依存してきた FPD をフィルムに変える事で新しい商品を生み出し、生活スタイルから変える。それが Flexible Display。

本講演では、液晶 Display や有機 EL の構造から製造技術を解説して現状の理解を深めて頂き、Flexible が創出する市場を紹介する。SF 映画に出てくる映像技術が間近に迫っている。